

第22回京都府次世代自動車普及推進協議会 議事概要

- 1 日 時 平成29年5月31日（水） 午後2時から4時まで
- 2 場 所 御所西 京都平安ホテル「平安の間」
- 3 出席者 自動車等メーカー、電力会社、学識経験者、経済団体、行政等
計23名
- 4 議 事

【主な内容・意見】

(1) 京都府における電気自動車等の普及促進の取組状況について

- 京都府電気自動車等普及促進計画（以下「計画」という。）に定める電気自動車等及び急速充電器の普及目標の達成率は、平成29年3月末時点で7割台。
- 計画に定める施策展開について、一部、取組が不十分な項目はあるものの、概ね一定の取組を実施。
- EVが普及し始めていることを良しとするのではなく、より一層、取組を推進していかなければならない。

(2) 京都府電気自動車等普及促進計画の改定について

- 今後、中間案の取りまとめ、パブリックコメント等を実施。年内に計画を改定。
- 改定後の計画には、現行計画の目標を達成する時期を明示した上で、さらにその先の目標を設定すべき。
- EVは、災害時の非常用電源としての役割やガソリンスタンドの無い地域における活用等、ガソリン車にはない価値を持っているため、ガソリン車とは役割を切り分けて考えるべき。
- 京都府にはEVに関係がある企業が多く、AI等の先端的な技術を取り入れながら普及していくという視点を持つと良い。
- 現在行っている写真コンテスト等の活動も含め、行政としてEVの普及を重視しているという姿勢を見せることが大切。